

福島空港は、玉川村と須賀川市にまたがる丘陵地に、福島県が管理する空港として平成5年に開港しました。現在は、札幌・大阪との2路線のほか、台湾とのチャーター便が1年を通して就航しており、空の玄関口として地域に貢献しています。

Topic

消火救難訓練を実施しました！

須賀川消防と公立岩瀬病院DMATが連携し情報収集、指揮、記録している様子



救急隊による搬送訓練



福島空港では、消火救難訓練の総合訓練と部分訓練を毎年交互に実施しています。総合訓練では、今回の訓練内容に加えて、各消防署の消防車が連携した放水・消火活動訓練なども行います。

12月10日、福島空港で消火救難訓練を実施しました。

訓練には、消防、警察、DMAT（災害医療派遣チーム）をはじめ空港関係機関など30機関から110名が参加し、福島空港に緊急着陸した旅客機の右エンジンから出火したとの想定のもと、乗客の救出からトリアージ、DMATによる応急処置、医療機関への搬送までの部分訓練を行いました。訓練では、各機関が連携し、情報の共有や傷病者の対応をすることができました。訓練終了後には、訓練参加機関との反省会を開催し、今後のさらなる迅速かつ的確な対応につながる意見交換が行われました。今後も、皆さまに安心してご利用いただける空港づくりに継続して取り組んでまいります。

合同調整本部での活動の様子



DMATによる傷病者の応急処置



Report

祝・就航2周年

1月16日、福島空港と台湾を結ぶチャーター便が就航2周年を迎えました。当日は、チャーター便の運航会社であるタイガーエア台湾の黄董事長らが福島空港に到着し、節目を祝う歓迎を受けました。

到着ロビーでは、空港周辺8市町村のマスコットキャラクターによるお出迎えや楽団による演奏、振る舞い酒の提供などが行われ、多くの乗客が福島の温かなもてなしを楽しみました。

現在、福島空港では毎週火曜・金曜に台湾とのチャーター便が就航しています。ぜひ、福島空港から台湾への旅をお楽しみください。

就航2周年を祝う台湾便の関係者



到着客への振る舞い酒の提供

Q&A

空港の消防車は特別？

Q 空港の消防車は、一般的な消防車と何が違うの？

A

空港で運用される消防車は「空港用化学消防車」と呼ばれ、見た目や性能が一般的な消防車と異なります。空港用化学消防車は、航空機火災などの空港特有の大規模火災に対応するため、大量の水と泡消火薬剤を積載し、走行しながら放水できる特殊な大型消防車です。国際民間航空機関（ICAO）の基準により、発災から3分以内の現場への到着が求められていることから、高い加速性能と優れた不整地走破性を兼ね備え、空港の広大な敷地における迅速な消火・救難活動に必要な不可欠な存在となっています。

福島空港には3台の化学消防車が配備されており、日々のフライトを支えています。写真の化学消防車は、ローゼンパウアー社（オーストリア）製の3号車で、価格は約2億円です。



福島空港の化学消防車（3号車）



Event

福島空港・福島空港公園のイベント情報

イベント名

実施日

実施場所

備考

ふくしまFM公開録音 台湾便就航2周年記念
福島空港 presents MUSIC GROOVE～Skirt WHITE WINTER FLIGHT～

2/15(日)

福島空港2階 国際線搭乗待合室

事前申込制

ノルディックウォーキングで健康になろう

2/21(土)

福島空港公園 エアフロントエリア

要予約、参加費・定員あり

※イベント情報は予定であり、変更となる可能性があります。お出かけの際は、下記公式ホームページのイベント情報をご確認ください。

福島県福島空港事務所

石川郡玉川村大字北須釜字はばき田21番地

0247-57-1111



福島空港
公式ホームページ



福島空港公園
公式ホームページ



福島空港事務所
公式ホームページ